

## 7-7-1 CIM対応SWG

### 1. 主な活動の記録

#### (1) SWGの活動目的と実施体制

建設事業全体における生産性の向上および品質確保等を目的として、国交省が推進する「CIM」ならびに「i-Construction」等の施策展開に対して技術的課題や懸案事項等を明確にし、関連する技術機関における技術検討活動等を通じて、建設コンサルタンツ協会として情報発信をすると共に、適時の技術情報を委員会および協会掲示板を通じて情報共有を図った。

実施体制は、技術委員会およびICT委員会の各分野の専門技術者により構成される当SWGにおいてCIM活用にかかる技術対応を実施した。

#### (2) 今年度の活動概要

##### a) CIM対応SWG

①SWG活動計画の周知および国交省の動向等に関する情報を共有した。(H29-7月度)

②関連委員会の報告概要および今後のSWG検討体制等について協議した。(H30-2月度)

##### b) CIM導入推進委員会[技術委員長(SWG委員)]

①第4回委員会(H29.8.8):過年度のCIM活用モデル事業のフォローアップ、今後の検討内容およびWG体制、データ利活用(案)等に関する審議への参加および情報共有を図った。

②第5回委員会(H30.3.6):各WGにおける検討事項、国際標準化に対する検討体制、H30年度の検討実施方針等に関する審議への参加および情報共有を図った。

##### c) ガイドライン・要領基準改定WG

・分野別ガイドラインのフォローアップおよび関連基準改定等の対応を実施。関係諸団体との連携・共有を図った。(6分野)

##### d) CIM実施体制検討WG

・CIMの効率的な活用に向けた実施体制等の検討および実証業務の検証等を実施した。

##### e) 国際標準対応WG

・国内外のデータ交換標準についてbSI(buildingSMART International)およびbSJ(buildingSMART Japan)等と協調し、情報共有を図った。

##### f) i-Construction委員会

・生産性向上にかかる前年度報告を共有し、傘下の関連協議会の技術展開を支援した。

##### g) ICT導入協議会

①第5回協議会(H29.7.31):活用工事の現状分析、関連15基準の改定検討、自治体への活用展開および工種の拡大等について関連諸団体と協議を実施した。

②第6回協議会(H30.3.6):H29年度の工事普及拡大の状況把握および今後の取組み等に関する協議を実施し、施工時において設計との3次元データの連携を要求している。

##### h) コンクリート生産性向上検討協議会

・第6回協議会(H30.3.15):生産性向上に向けた検討、規格の標準化・要素技術の一般化、サプライチェーンマネジメントの導入検討を協議した。

##### i) i-Construction推進コンソーシアム

・3次元データの利活用に関する活用方針や、技術開発・導入検討、国際標準化検討等について検討を開始した。

##### j) 国土交通省との意見交換・関連調査対応

・CIM活用に関するリクワイヤメントおよびi-Constructionにかかる全体最適設計・施工導入に関し、調査等を実施した。

##### k) 建設系諸団体との協働

・日建連との意見交換: CIM活用展開にかかるリクワイヤメント対応を協議(6月度)

・3工法・CIMガイドライン説明会の日建連との共催:講師派遣および事務局対応を実施(7-8月度、東京3回の他、全国10会場)

・土木学会CIM講演会2017に3名の講師派遣

### 2. 次年度の主な活動予定について

(1) SWGの定期的開催による技術情報の共有

(2) BIM/CIMおよびi-Construction関連の委員会等への参画および技術情報の共有・周知

(3) データ連携および国際標準化対応等に傾注

(4) 技術情報誌等へのBIM/CIM関連論文の投稿

(5) JACIC等、CIM人材教育研修の運営支援等

(CIM対応SWG SWG長 加藤 雅彦)